

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA AIRPORT since 29 July, 1974

2016～2017年度RIテーマ:『 ～ 人類に奉仕するロータリー～ 』
ガバナー方針:『 ～ 真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～ 』
クラブ方針:『 笑顔と共に奉仕の輪を広げよう! 』
～ 明るく・楽しく・心豊かに ～



名古屋空港ロータリークラブ

事務局

名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル606号室

TEL(052)561-2405 FAX(052)571-2867

E-mail rongoapt@mta.biglobe.ne.jp

会長/ 武田 英昭

幹事/ 田邊 雅彦

広報委員長/ 太田 威彦

例会日/毎週月曜日 12:30～13:30

例会場/キャッスルプラザ

第1911回例会

2016年10月14日(金) 第12回

- 点 鐘 春日井RC会長 伊藤 純君
- 斉 唱 「君が代」「我ら日本のロータリアン」
- 例会行事 ガバナー公式訪問
- ゲ ス ト 服部 良男ガバナー
岩月 昭佳地区幹事
加藤 博巳事務局長
- 司 会 春日井RC 朽本 正樹君

歓迎挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長 武田 英昭君



名古屋空港 RC の会長を務めます武田でございます。

本日は、ロータリーの年間行事の中で国際ロータリーの役員と我々が、公式に接触をする年の一度の重要な行事である「ガバナー公式訪問」でございます。

服部ガバナー、岩月地区幹事、加藤事務局長におかれましては、ご多忙の中、我々ファミリークラブにご来訪頂き、先ず以て、3クラブを代表いたしまして感謝を申し上げます次第でございます。

本日、服部ガバナーから、2016-17年度ジョンF.ジャームRI会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」の解説とその実施について激励を含めたスピーチを拝聴できることと存じますが、服部ガバナーは、「会費を払い、ロータリーの友を購読し、例会に出席さえすれば、それは、真のロ

ータリアンでしょうか？」と我々に問い掛け、そして「Be The Rotarian, Find A Rotarian ～真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～」と本年度、地区方針を掲げられております。

1905年、わずか4人で始まったロータリー運動が、現在、世界で200以上の国に約35,000のクラブ、会員数1,216,000名余りの、同じ目的を持って行動しているロータリアンを世界に有するまでになっております。これは、良識ある世界の人々に「ロータリーの哲学と運動」が、高く評価された結果であると考えられます。我々は、今、111年にわたり先輩ロータリアンの築かれた大いなる遺産を更に発展させる責務があると考えます。

本年度、地区のビジョン「10年後20年後も地区の輝きが持続可能なこと」と掲げられております。それを具現化するには、我々、各クラブが10年後20年後、いや、未来永劫に活力があり、輝き続けるクラブであり続ける必要があると考えます。其の為には、同時に一人でも多くの仲間に「ロータリー活動の必要性、また、ロータリーの理想を共有し、世界の人を笑顔にする奉仕活動を共にするよう」働きかけることが必要不可欠であると考えます。

最後になりますが、本日、服部ガバナーよりRIの目指すロータリー像、地区方針等について具体的なご示唆を頂く事に感謝致しまして歓迎挨拶と致します。

会長挨拶

春日井ロータリークラブ会長 伊藤 純君



今回は私の昔の頃の話をしりさせて頂こうと思ひます。

今から 49 年前、19 歳の頃上京しました。小金井にアパートを借りて、東京での生活をスタートさせて少し経った頃、有名な 3 億円事件が発生し、警察が何度か訪ねてきた事を記憶しています。

たまの休みに新宿に出ると、現在は都庁をはじめ高層ビル群と化している新宿南口エリアですが、昔は大きな淀橋浄水場があり、とても大都市の様相ではありませんでした。当時、安くて美味しいクシラ料理の店が新宿には多くあり、好きでよく食べていた事もあります。

現在の姿からは想像しにくいと思いますが、大学時代は野球をやっておりました。神宮球場での東京 6 大学野球ではありませんが、日刊工業新聞の後援で、駒沢球場での理工系東京 6 大学野球リーグ、法政大・工学部として参加していました。

当時のキャンパスがあった東小金井は、昔は田んぼだらけでしたが、数年前立ち寄ってみると、整備されたベッタウンといった街並みで、当たり前ですが約 50 年で街も相当変わるなぁと思ったものです。お仕事や学業で昔東京で暮らしていたロータリアンも多いと思います。当時の話もしてみたいので、お声かけて頂ければ幸いです。

委員会報告

●出席報告 (友原 寛之委員)

本日の例会					
会員数	53	出席率	68.29%		
出席者	出席義務者 12	欠席者	出席義務者 13		
	出席免除者 6		出席免除者 12		
	出席者計 28		欠席者計 25		
前々回例会 (9月26日)					
会員数	53	出席率	97.87%		
出席者	出席義務者 34	欠席者	出席義務者 1		
	出席免除者 12		出席免除者 6		
	出席者計 46		欠席者計 7		

●ニコニコボックス報告 (稲熊 正徳副委員長)

服部ガバナー、岩月地区幹事、加藤事務局長のご来訪に感謝して。

武田 英昭 君

服部ガバナーのご活躍を祈念して。

串田 正克 君

本日全員協力

御協力ありがとうございました。

本日の協力	27名	33,000円
本年度の協力累計		541,000円

ミス・ケローナ挨拶



青年大使 ミッシェル・マズールさん

ガバナー卓話



服部 良男ガバナー

皆様、こんにちは、ただ今ご紹介いただきました本年度ガバナーの服部良男でございます。所属は岡崎RCでございます。本日は3クラブ合同例会の開催ということで、ありがとうございます。

本日はガバナーとして、RI会長ジョン・ジャーム氏の戦略についてと、地区の方針についてお話させていただきます。今年のRI会長はアメリカ人でロータリー暦が40年で特に財団関係への造詣が深い方です。

今年の1月に世界から535名のガバナーが集まり、今年のテーマについてRI会長よりお話をいただきました。その中で、今年はロータリー財団が100周年を迎えるということで、是非皆さんでこれをお祝いしようというお話がありました。ガバナーに対してそれぞれ地区に戻ったら、地区のロータリークラブの財団との歴史を振り返り、それをお祝いする催しを開催して欲しいとのお願いがございました。また、来年の6月10日よりアトランタで開催される国際大会に是非大勢の方にお越しくださいとのお話もありました。

100年前にアトランタで国際大会がありました。今年は会長がアメリカ人ということもあり大変盛り上がっています。更に今年は2760地区から理事を輩出しておりますので皆様のご参加をお願いします。

2016-17年度のRIテーマは、『ROTARY SERVING HUMANITY』 訳は、人類に奉仕するロータリーです。これはRIとしてのテーマであります

が、では、ロータリークラブとして、またロータリアンとしてSERVEではなく、SERVINGと現在進行形にした部分がジョン・アーム氏の大きな思い入れであります。すなわち、奉仕し続ける団体・個人であって欲しいとの意味であると私は理解しております。 人類に奉仕するロータリー（ロータリーは人びとに奉仕し続ける）とは、ロータリアンは、困っている人がいたら、背を向けず、自分のできることをする、それが奉仕、その結果、人が笑顔になること、仲間のロータリアンとその奉仕の輪を広げることそれが ロータリー。この言葉がRI 会長からのメッセージであります。

さて、少し国際ロータリーについて説明させていただきます。会員数は120数万人でほぼ横ばいですが、残念ながら先進国の会員数が約3割減っております。台湾・韓国・インド・スリランカでの会員数増加のおかげでRIの会員数が維持できております。当地区でも6000名を超えていた時期もありましたがここ15年で3割弱減り、現在は4754名であります。ロータリーは今成熟期に入っております。これまで100年間活動してきように、次の100年もミッションをもって世界平和のためにどうすべきかがテーマであります。そのためにどうすればよいか。企業と同様に、ロータリーとしての強み・価値を再認識し、共有することが大切であると思います。

ステップ1、強味、価値＝ブランドの認識

ステップ2、ブランドの共有

ステップ3、ブランドを使った、商品、サービスの開発

ステップ4、マーケティング

上記がブランドマーケティングのステップです。これにRIとして行っていることを紹介します。

ロータリーのブランド（中核的価値）

- Fellowship（親睦）
 - ーFellow とは、同じ目的を持った仲間のこと
 - ーShip とは、その関係を維持すること
- Integrity（高潔性、倫理性）
 - ーロータリーのDNAである。
 - ー4つのテスト
 - 1、真実かどうか
 - 2、みんなに公平か
 - 3、好意と友情を深めるか
 - 4、みんなのためになるかどうか。
- Diversity（多様性）
 - 世界200カ国を超える国、性別、職業、宗教
 - ポールハリスがロータリー創設時の「多様性と寛容」
- Leadership（リーダーシップ）
 - ーロータリーでのリーダーはビジョンを実現できること
 - ーShip とは、リーダーであり続けること
- Service（奉仕）
 - ロータリアン、ロータリーが人々に与えられる唯一の言動や行動、困っている人がいたら

一緒に考え、できることをする。そしてその人を笑顔にすること＝Serving

親睦・高潔性・多様性・リーダーシップの4つの特徴をもって奉仕活動を行うことがロータリーのブランドマーケティングであります。

SERVING（奉仕活動）とは

• 奉仕活動とは、定義するものではなく、笑顔でない人を笑顔にする言動、行動

• 人を笑顔にするには、ロータリアンは、

ー高潔性を持ち

ー多様性を受けいられる寛容性を持ち

ー問題を分析し、企画しアクションを起こす

• そのためには、我々が笑顔でなくてはいけない

それがFellowship 親睦。

と私は理解しております。次にロータリアン個々のお話として。

SERVING とは

人が人に価値を与える言動・行動受けた人がその言動に感謝して笑顔になること。

SERVING を維持可能にするためには

資金が必要

ビジネス：価値を提供した相手から対価をいただく

公共事業：住民の税金で

公益事業（学校・病院）：対価と補助金

Rotary：入会金・経費と寄付による資金

（ロータリー財団）

上記が皆さま個々に行動して欲しい RI 会長の願いであります。

次に地区の方針をご説明します。

地区方針

Be The Rotarian Find A Rotarian
～真のロータリアンになろう、

ロータリーを見うけよう～

ーロータリーのブランドを再認識し、磨きましよう

ー人道的奉仕活動に参加し。人を笑顔にしましよう

ー仲間と一緒に奉仕活動をし、ロータリーのブラ

ンドを地域の人に伝え、新しいロータリアン、仲間を見つけましよう。

地区のビジョン

～10年後20年後も地区の輝きが

持続可能であること～

新しいロータリアンや若いロータリアンを勧誘し退会を防ぐには、過去と現在だけでなく、将来を見据えてビジョンやあるべき姿を明確にし、ロータリアンでない地域の人びとにわかる表現や言葉でブランドや奉仕活動を伝えていくことである。

私の会社は創業130年です。過去や現在の良いことだけを伝えても会社の魅力を感じ入社しません

未来の話（ビジョン）を明確にしてこそ魅力ある会社となり新入社員を獲得することができます。ロータリー・RIも今これをやろうとしています。これがステップ1であり

ます。

次にステップ2として、マイロータリーの活用があります。

マイロータリーとは

ロータリアンが世界中のロータリーが行っている人道的奉仕やブランドを共有する

ロータリーや財団が100年以上人を笑顔にしてきたコトを学ぶ

自分の行っている人道的奉仕活動を積極的に投稿し、他のロータリアンに知ってもらう

目標

クラブのマイロータリー登録率 50%

入会3年未満の登録率 100%

・春日井 RC

MR16名 会員数56名 28.6%

・名古屋空港 RC

MR5名 会員数53名 9.3%

・名古屋城北 RC

MR7名 会員数25名 28.0%

MY Rotarian (マイ ロータリアン)

1、各クラブの My Rotary の登録、利用を促進する担当・責任者

2、My Rotary の情報やニュースを各クラブへ紹介する担当・責任者
地区の HP や Facebook、Twitter などのソーシャルメディアをクラブ会員に知らせる担当・責任者

3、ソーシャルメディアを利用して、ロータリーのブランドや人道的奉仕活動を地域の人びとに伝える担当・責任者

公共イメージを向上させる

以上が地区のテーマであり、RI 会長のテーマに沿った目標であります。

RI は今、人道的奉仕活動の6つの重点分野と月間を定めております。

- ・平和と紛争予防/紛争解決 (2月)
- ・疾病予防と治療 (12月)
- ・水と衛生 (3月)
- ・母子の健康 (4月)
- ・基本的教育と識字率向上 (9月)
- ・経済と地域社会の発展 (10月)

どうしてこの6つかというと、もっとも笑顔が無い状況であるからです。

戦略計画 (第2760地区) 2016-17

公共イメージと認知度の向上

↑↓

クラブのサポートと奉仕活動強化

↑↓

人道的奉仕の重点化と増加

私のクラブもそうですが、昔から続けている事業に対し、若いメンバーの参加率が減っている現状があります。今後は柔軟性をもって、奉仕活動のあり方を考えていかなければ

ならないと感じております。

クラブの活性化

・人道的奉仕活動の尺度 (質と量)

奉仕に参加するボランティアの人数×奉仕時間

＋寄付金・寄附物品

最近では会員数の少ないクラブが多くなり、クラブ単位での活動に制限が発生します。それを解決するために、他の専門団体とロータリーのブランドを融合させ奉仕活動の輪を広げていくことも奉仕活動の尺度を広げていくことになると思います。

最後に私の仕事は、名古屋空港 RC・名古屋城北 RC・春日井 RC の3クラブの皆さんが、笑顔で本年度の奉仕活動を行えることをサポートすることです。

本日は誠にありがとうございました。

お礼の言葉

名古屋城北ロータリークラブ会長 長谷川幸正君

服部ガバナー、岩月地区幹事、加藤事務長には、会長、幹事との懇談会に引き続き春日井 RC、名古屋空港 RC、名古屋城北 RC 合同例会に、ガバナー公式訪問を頂きありがとうございます。

今年度 RI のジョン F. ジャーム氏の会長テーマは、ROTARY SERVING HUMANITY (人類に奉仕するロータリー) です。その内容について、ガバナーから事例を挙げながら奉仕について掘り下げてお話し頂きました。名古屋城北 RC としても、奉仕活動について今一度考えてみたいと思います。

来年6月まで、9ヶ月間、服部ガバナーの任期があります。その間、激務ですので健康には注意いただき、その職務をまっとうされますことを祈念いたしましてお礼の言葉と代えさせていただきます。

最後になりましたが、春日井 RC、名古屋空港 RC、名古屋城北 RC 合同例会をセッティングして頂いたホストクラブの春日井 RC の伊藤会長、成瀬幹事をはじめとする皆様に、素晴らしい会を準備していただきましたことを感謝いたします。

